

2021/2/13-2

(うとQ世話し「めげないスピリット」の勧め 改)

選択肢が狭いと、どうしても「失うまい」として、限られたそれに「すがりついて」しまいます。

例えば卑近な例で申し上げますと

選択肢が「お金持ちになる事」だけだとすると「お金を得られなかったら」或いは「お金を失ったらどうしよう!!」とお金にすがりつき、失わないためなら悪いことやずるい事も平気でするようになってしまいます。

(他には地位や名誉、肩書きなんかもその類いでしょう)

だって、この世に生を受けた直後からそう教え込まれたのか、はたまた、生後の経験の中で、自分で勝手にそう決めつけるようになってしまったのかは別として、結果的に、他に選択肢がないんですから、そうなるのは当然です。

人情としては、とてもよく分ります。

しかし、もし、選択肢がもっと他あったら

「お金はだめだけど、他を当たるか」

とか

「今はお金に見放されているけど、しばし他のことで繋いで、機運が訪れたときに又お目に掛るとするか」

という余裕が生まれてきます。

なので、子供の教育は「どうやったらお金を得られるか?」又は「維持し、失わずにすむか?」に重きを置くより

「お金がなくてもへこたれない」「家を天災で喪失して気落ちしない」「職を失っても又探し始める」

そういう「めげない」教育、即ち選択肢を多く持たせるか、又は多くの選択肢が存在している事に気づかせる(気づいてもらえる)教育をしたいと思っております。

親として残したいのは「お金や家や株券等」の有形財産ではなく、それらを全て失っても、又立ち上がる「めげないスピリット (never give up spirit)」と、それを成り立たせる知識+経験=知恵という無形財産を、この世への置き土産にしたいと思っております。

そのメリットは何かと言えば、親に掛る物理的コストが限りなくゼロに近いこともありますので、手前どもと致しましては、一度お試しになられることを、心よりお勧め申し上げる次第でございます。